

2020年11月1日

国立循環器病研究センター／連携回復期病院で
嚥下に関する診療を受けられた患者さん・御家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2011年1月～2024年3月の間に、国立循環器病研究センター、千里中央病院、千里リハビリテーション病院、市立吹田市民病院で、嚥下に関する診療を受けられた方

【研究課題名】嚥下障害の後ろ向き観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原 匡史

【研究の目的】嚥下障害の評価法と予後との関連を調査することによって、スクリーニング法で検知できない脳卒中後摂食嚥下障害の特徴を明らかにする。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、症状、血液検査結果、画像検査、嚥下評価法、サルコペニア指標、治療内容、合併症、栄養管理状態、予後

以下の共同研究施設（情報提供に係る責任者）から国立循環器病研究センターが匿名化した情報の提供を受けます。

提供元の機関：千里中央病院（成富博章）、千里リハビリテーション病院（高屋成利）、市立吹田市民病院（乙宗宏範）

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会、研究会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 担当医師 福間 一樹
電話 06 6170-1070 (代表) (内線 60318)